

## 令和 6 年度 自治と協働の職員研修実施要項（第 2 回会議後修正案）

### 1. 目的

- ①今年度は、新たな協働実践の事例研究を職員・市民の双方向で実施する。
- ②事例発表に基づき、例年通りグループワークで議論と課題を共有する。
- ③事例研究の成果と課題、今後の自治と協働を推進する具体施策を提案する。  
そのことを重点に実施することにより、
- ④条例の「見える化」の絞り込みを進める。
- ⑤市職員の条例認識と推進意欲を揺さぶり高めていく。
- ⑥各職域で「市民と行政の自治と協働の具体的課題」を発見・実践していく転換期とする。  
以上の 6 点を目的として、【令和 6 年度 自治と協働の職員研修】を実施する。

### 2. 参加対象

- 係長級の職員を含む各課 2 名ずつ（計 90 名程度）  
※ 当該職員の都合がつかない折は、可能な限り代理職員が出席すること。
- 橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会委員（15 名程度）

### 3. 日時及び場所

令和 6 年 9 月 27 日 午前の部： 9：30 ～ 11：30 午後の部：13：30 ～ 15：30  
@教育文化会館 4 階第 6 展示室

### 4. プログラム（内容は録画する）

- ① 開会 9 時 30 分（13 時 30 分）～  
司会（はぐくむ委員）、研修説明（はぐくむ委員）
- ② 協働の事例発表 9 時 35 分（13 時 35 分）～
  - 東委員よりはしもとプラチカについて（10 分）、市のまちづくり課よりアダプト制度について（7 分）、いきいき健康課よりげんきらり～教室について（7 分）
  - 発表内容は①趣旨と目的②実施内容③成果と反省④これからの実践課題で構成する。
- ③ ワークショップ 10 時 00 分（14 時 00 分）～
  - テーマ①事例研究発表の評価②成果と課題の整理③今後の活用と発展への具体提案。
  - 1 グループ 6～8 名（うち 1, 2 名ははぐくむ委員）、7～8 グループでワークを行う。
- ④ 発表（25 分程度） 11 時 00 分（15 時 00 分）～
  - テーマに基づき 1 グループ 3 分以内
  - ①協働実施における課題②課題点への向き合い方（改善方法）③今後の取り組み方の 3 点についてまとめていただく。

⑤ 講評（10 分程度） 11 時 25 分（15 時 25 分）～

和歌山大学名誉教授 堀内 秀雄 氏

⑥ 閉会 11 時 35 分（15 時 35 分）

## 5. 研修後の対応

研修会開催後に、はぐくむ委員による職員研修反省会を実施し、以下の点について協議・決定を行う。

- ・事後アンケートや「自治と協働に関する職員アンケート」の内容について
- ・研修内容の録画の活用方法の検討